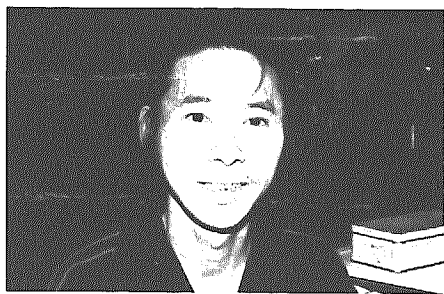


# いい顔、ありがとう

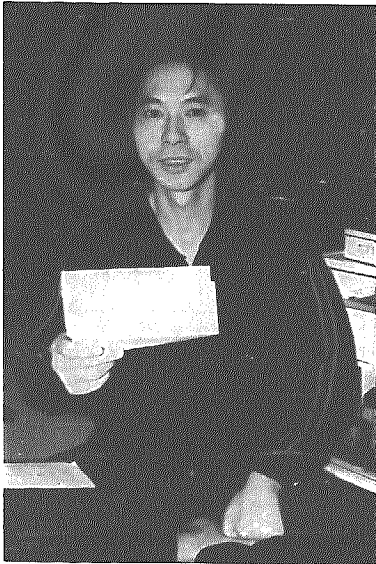
楽しい歩き遠足(10月13日・和納保育園)

●この広報紙にあなたが  
写っていましたら、総務課  
企画係(☎0411-11内線  
215)へご連絡ください。  
写真をさしあげます。



「やれるところまでは、一所懸命がんばってみたいですね」と、謙虚に話しながらも強い意思の感じられる宮島幸司さん。今月十三日から沖縄県で開かれる「第二十三回全国身体障害者スポーツ大会」に県代表として参加します。宮島さんは、昭和四十八年に交通事故で、左手と左足が不自由になり、いまは身体障害の一級に認定されている重度障害者ですが、持ち前の明るさから、今年五月に長岡市で開かれた身体障害者スポーツ大会県予選会に初めて参加。百三十人の出場者のなかから、(みごと)砲丸投げ(四キ)と立ち幅跳びで県代表となりました。「まわりのみなさんから、ぜ

ひ参加してみたら……とすすめられて、今回初めて出場したのですが、予選会の雰囲気でもてもむりだろうと思っていたところ、県代表に選ばれて沖縄へ行くことになり本当に喜んでいきます。わたしのようには体が不自由だと、なかなか遠くへは出かけられませんが、正直いいって良いチャンスだと感謝しています。大会のテーマは「親善」。わたしも多くの仲間と互いに交流し、そのうえで試合でいい記録を出せば文句ないですね」と語るその目はうれしそう。



「この励ましの手紙をくれた宮里さんとぜひ、会いたいですね」と語る宮島さん

## 励ましの手紙を心の糧に

いま、それを使って練習に励んでいます。それが思うようには飛びませんね。でも予選会で出した七の記録は破りたいですね」とちよびり期待も。宮島さんにとっては、大会出場もさることながらもう一つうれしいことがあります。それは受け入れ先の沖縄県の沖繩市立中の町小学校五年生の宮里真由美さんから、励ましの手紙をもらったことです。「宮島さん、大会ではがんばってくださいね。そして、心温まる手紙を届けてくれた宮里真由美さんとお会いできることを祈っています。」

こめひと

第23回全国身体障害者スポーツ大会県代表の  
宮島 幸司さん(西中・39歳)

木の葉が美しく紅葉した丸小山公園へ先月十三日、和納保育園の園児たちが歩き遠足に出かけました。到着するとさっそく、公園で自由に飛び回ったり、テニスコートの散歩と保育園とは違った環境に熱中。でも一番の楽しみは、お弁当です。あんまり喜びすぎて、おにぎりを芝生に落としたりアワテン坊もいました。



やっぱり一番楽しいのは、お弁当の時間、と園児たち

「お父さん、こっちはだよ」と子供にリードされて...

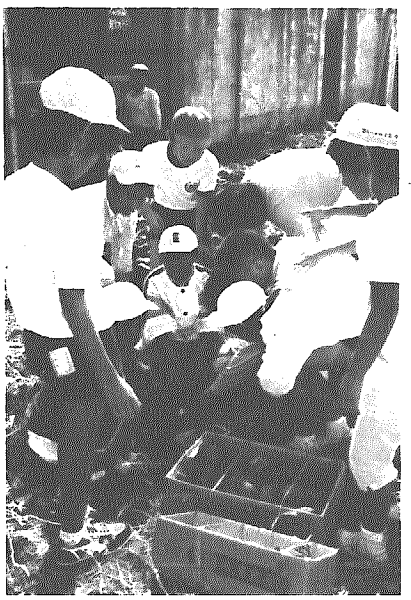


## 危うく落馬の騎馬も

—親子で楽しんだ保育園の運動会—

晴天に恵まれた体育の日の先月十日、村内の四保育園でそろって運動会が開かれました。ここ中央保育園でも、百七十八人の園児が紅白に分かれ、団体競技の玉入れや縄引き、鈴割りに夢中。勝負がつくたびに「パンザーイ、パンザーイ」を繰り返していました。また保育園の運動会とあって親子で楽しむ種目も多く、お父さんたちに肩ぐるまされたの、親子騎馬戦は大好評。あんまりハッスルすぎて、危うく落ちそうな親子騎馬もいました。

働くことの尊さを学ぼうと、野菜づくりを行っている岩室小学校。先月5日には、全員でさつまいも掘りをしました。各学年ごとに、とくに丹精込めて育ててきたさつまいもだけに、どれも大きなものばかり……。児童たちは、汗をふきながら収穫の喜びを感じていました。また、この日収穫したさつまいもは、焼きいもにして、味覚の方も楽しみました。



たくさんとれたよ!

掘り当てると大歓声の上がる、さつまいも掘り。今年は大きなものが多いとか...